

	頁	内 容
修正	15	<p>加西市の人口は今後も継続的な減少が予測されることから、「人口減少社会」について予め考えておく必要性が高まっています。人口減少社会は予測する問題として扱うのではなく、住民誰もがそうありたいと願う将来像の実現に向けて、人口減少社会の中で主体的に自ら何ができるかを論じるべき重要課題として捉える必要があります。</p> <p>子どもから高齢者まで、誰もが暮らしやすい、働きやすいと実感できる都市の魅力「加西の元気力」を創造するため、人口減少による社会構造の変化とその影響に正面から向き合い、5万人都市再生に向けて効果的な人口増対策に優先的に取り組みます。</p> <p>→ 【市民ワーキング委員の指摘】 「人口減少社会」は正面から向き合うべき問題として捉えるべきで、消す必要はない。</p> <p>→ 【再修正】</p> <p>加西市の人口は今後も継続的な減少が予測されることから、「人口減少社会」について予め考えておく必要性が高まっています。人口減少社会は予測する問題として扱うのではなく、住民誰もがそうありたいと願う将来像の実現に向けて、主体的に自ら何ができるかを論じるべき重要課題として捉える必要があります。</p> <p>子どもから高齢者まで、誰もが暮らしやすい、働きやすいと実感できる都市の魅力「加西の元気力」を創造するため、社会構造の変化とその影響に正面から向き合い、5万人都市再生に向けて効果的な人口増対策に優先的に取り組みます。</p>
修正	24	<p>公民館を中心に市域をキャンパスとする市民大学学びの場を創設し、新しい仲間づくりを進めます。</p> <p>→ 【市民ワーキング委員の指摘】 意味がわかりづらい。「市民大学などの学びの場」に表現変更。</p> <p>→ 【再修正】 公民館を中心に市域をキャンパスとする生涯学習パスポート登録制度を活用し、新しい仲間づくりを進めます。</p>
修正	32	<p>義務教育9年間は見通した小中連携強化及び小中一貫教育に対応した教育指導要領計画を作成推進し、幼小、小中連携を強化します。</p>
修正	32	<p>小中教員の連携、外国語指導助手の配置増員により、小中学校の外国語教育を充実します。</p>
修正	34	<p>学校再編整備計画に応じた給食調理場を整備し、全中学校給食を実施します。</p>
修正	34	<p>住民参画による小中学校の再編に向けた計画を策定し、地域の合意を得た地区から順次整備していきます。</p> <p>→ 住民参画による小中学校再編についての話し合いを行います。</p>
修正	34	<p>木造校舎の耐震診断を実施し結果を踏まえ、早期に耐震補強工事を行います。鉄筋コンクリート・鉄骨造校舎で耐震性の低い施設から耐震補強工事を行い、改修工事も同時施工します。</p>
修正	38	<p>神戸大学、農業大学校、加西農業改良普及センター、播磨農業高校等の学術研究機関と連携し、新規就農希望者、認定農業者を対象とした公開講座を開催します。</p>
修正	38	<p>認定農業者や新規就農希望者への農地の利用集積を支援し、補助制度を充実します。</p>
追加	38	<p>生産・加工・販売の一体的な6次産業化に向け、起業者への支援を行います。</p>
追加	38	<p>多様な農家が共存し、安心して住み暮らせる共同体による農村環境を整備します。</p>
追加	40	<p>地元企業も進出しやすい新規産業団地を整備します。</p>

	頁	内 容
追加	40	<u>加西産野菜の学校給食への供給等、地産地消事業を推進します。</u>
追加	48	<u>特別指定区域制度を利用した加西インターチェンジ周辺の有効利用を進めます。</u>
追加	48	<u>鶴野飛行場跡地周辺の有効活用を進めます。</u>
追加	50	<u>高速バスや路線バスの拡充による阪神間への通勤・通学の利便性の向上を図ります。</u> →【市民ワーキング委員の指摘】「阪神間」という表現は「都市部」ではどうか →【再修正】高速バスや路線バスの拡充による <u>近隣市や</u> 阪神間への通勤・通学の利便性の向上を図ります。
追加	52	<u>国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備します。</u>
追加	52	<u>河川の維持管理の強化と未改修河川を整備します。</u>
修正	54	市役所内就労支援や障がい者雇用の拡充を図るための就労フェア等を支援します。 <u>社会参画機会の拡大と環境づくりを進めます。</u>
修正	54	障がい者の集いの場となるサロン事業等、 <u>障がい者団体の活動活性化と支援を拡充</u> します。
追加	56	<u>健康づくりのための拠点を充実します。</u> →【市民ワーキング委員の指摘】「曖昧な表現で意味が伝わらない。」 →【再修正】健康づくりのための拠点 <u>施設</u> を充実します。
修正	56	特定健診やがん検診、歯周疾患検診等の受診率向上のための <u>制度を充実</u> します。
修正	56	<u>予防接種の助成制度を拡充</u> します。
追加	58	<u>保健、医療、福祉の連携を密にし、これらのサービスが適切にうけられる体制を確保</u> します。 →【市民ワーキング委員の指摘】介護も加えるべきではないか。 →【再修正】保健、医療、福祉、 <u>介護</u> の連携を密にし、これらのサービスが適切にうけられる体制を確保します。
追加	60	<u>ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯への地域に密着した配食サービスを拡充</u> します。 新規追加
追加	60	<u>要介護高齢者の通院等外出支援のために移送サービスを充実</u> します。

	頁	内 容
修正	60	高齢者や障がい者、及びその介護者を支援するため、 施設サービスを含め、介護・福祉サービスの充実や地域包括支援センターを核とした 総合的な支援体制を強化します。
修正	60	高齢者や障がい者、及びその介護者を支援するため、 施設サービスを含め、介護・福祉サービスの充実や地域包括支援センターを核とした 総合的な支援体制を強化します。
追加	62	北はりま消防本部と地域消防団の連携を強化し、防災対策を充実します。
追加	62	青色防犯パトロールによる巡回活動を充実します。
修正	62	通学路防犯灯を増設し 等、公共施設の照明をLED照明に順次切り替えます。
修正	64	申請手続や保育時間の延長、 第2子以降の保育料の無料化等 、住民ニーズに対応した保育サービスの見直しを進めます。
追加	64	療育事業の拡充による幼少期から成人期への切れ目のない支援を確立します。
追加	64	地域ぐるみの子育て支援により児童虐待防止を推進します。
修正	72	上下水道の施設や設備について費用の平準化を図りながら計画的に耐震化を推進 整備を行います 。
修正	72	民間活用 企業努力による 水道事業の効率化、安定化、 適正化 を進めます。
修正	74	ごみの分別、リサイクルを推進し 、民間活用によるゴミ処理の効率化、適正化を進めます。
追加	74	美パースへの補助金を拡充します。
修正	78	まちづくり条例 自治基本条例等の制定によって 地域ふるさと創造会議 地域協議会の位置づけや行政の支援体制を構築します。 →【市民ワーキング委員の指摘】 「ふるさと創造会議」の名称を使うより普通名詞としての「地域協議会」の言葉がよいのではないか。 →【再修正】 まちづくり条例等の制定によって 地域協議会 (ふるさと創造会議)の位置づけや行政の支援体制を構築します。
追加	80	姉妹都市との連携による、市民レベルの国際交流を実施します。
追加	82	入札制度改革を進め、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。
修正	82	行財政改革プランを策定し 、財政健全化のための目標値を設定し、予算の段階から財政健全化に向けての取り組みを行います。